

#### 議事要旨(4) 金融商品専門委員会における検討状況（金融負債）について

冒頭、加藤副委員長（専門委員長）より、金融負債の分類及び測定について、専門委員会における検討状況及び今後のスケジュールについて説明がされた後、関口専門研究員より検討状況の整理（案）について説明がされた。

説明の後、委員等からの主な発言及び事務局からの説明は以下のようなものであった。

- ある委員から、IFRS 第9号において、組込デリバティブがオプション以外の場合には、複合金融商品の区分に当たって初日の損益を認識しないことになっているが、この背景を確認すべきとの発言があった。これに対し事務局からは、本件について確認したいとの回答がされた。
- あるオブザーバーから、検討状況の整理（案）において「リサイクリングの禁止はコンバージェンス上の重要な課題の1つであると認識・・・」との記載があるが、リサイクリングの有無は、企業会計上極めて重要な問題であるものの、コンバージェンスの観点からはさほど重要な課題とは思えない旨、及びIASBにおける審議の過程について説明を追加すべきではないかとの発言があった。これに対し事務局からは、指摘された点について文案を検討したいとの回答がされた。
- 事務局より、複合金融商品のうち主契約が金融負債以外のもの（例えば、主契約がリース契約の場合）についても本検討状況の整理の対象とすべきか否かについて、引き続き、検討したいとの説明がされた。

以 上